

一般社団法人 鹿児島県作業療法士会 運営会議運営細則

平成24年4月16日 理事会決定

(目的)

第1 条 この細則は、一般社団法人鹿児島県作業療法士会(以下「当会」という)の運営ならびに設立目的を達成するために開催される、運営会議の運営に関し必要な細目を定めることを目的とする。

(運営会議の機能)

第2 条 運営会議は、次に掲げる事項を行う。

- 一 事業に係る手法の策定、その手法の改定及び中止に関する審議
- 二 事業展開の解釈に関する審議
- 三 事業の運営に関し必要な細目の制定、改正及び廃止
- 四 前各号に掲げるもののほか、会長が必要と認めた事項

(開催)

第3 条 運営会議は次のいずれかの場合開催する。

- 一 会長が必要と認めたとき。
- 二 理事の3分の1以上から、開催の目的たる事項を示して請求があるとき。

(招集)

第4 条 運営会議は、会長が招集する。

2 運営会議を招集する場合は、理事及び任命委員（以下運営委員）に対し、会議の日時、場所及び目的たる事項を記載した書面をもって少なくとも2週間前までに通知しなければならない。

3 会長は、前条第2号に定める場合には、請求の日から4週間以内に運営会議を招集しなければならない。

(議案の提出)

第5 条 運営会議に、事業に係る手法の策定、その手法の改定及び中止、事業展開の解釈、事業の運営に関し必要な細目の制定、改正及び廃止（以下、本条において「議案」という。）を提出しようとする者は、規格会議の開催日より少なくとも1週間前までに当会事務局にその議案を送付しなければならない。

2 運営委員は、前項の規定により送付された議案をいつでも閲覧することができる。

3 会長は、運営会議の議事を円滑に進めるため、前もって、受理した議案を理事及び任命委員に送付することができる。

(議長)

第6 条 運営会議の議長は、会長とする。

(定足数)

第7 条 運営会議は、理事の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。

(オブザーバ)

第8 条 運営委員でない者であって、運営会議への出席を希望する者は、議長の許可を得てオブザーバとして出席することができる。

(決議)

第9 条 運営会議における決議は、次項各号に掲げるものを除き、出席した運営委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

2 次の各号に掲げる事項に関する決議は、出席した運営委員（ただし、第10 条で規定する棄権した運営委員を除く。以下、本項において同じ。）の全員の賛成をもって可決とする。ただし、十分な審議を経てもなお全員の賛成が得られない場合であって、その否決が当会の設立目的を阻害する恐れがあると議長が認めたときは、議長の判断により、出席した運営委員の3分の2以上の賛成をもって可決とすることができる。

一 事業に係る手法の策定、その手法の改定及び中止

二 事業展開の解釈

3 前項のただし書きは、策定、改定又は廃止した事業手法について異議を有する運営委員が異議の趣旨を書面で会長に提出することを妨げるものではない。

（決議に当たっての立場）

第10 条 決議に当たっての立場は、次のいずれかとする。

一 賛成

二 反対

三 棄権

2 反対の場合にあつては、理由又は具体的対案を示さなければならない。

3 棄権には、前項の理由又は具体的対案が示されない場合を含むものとする。

（書面表決等）

第11 条 やむを得ない理由により運営会議に出席出来ない運営委員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は代理人を指名してその者に表決を委任することができる。

2 前項の場合において、書面による表決者又は表決の委任者は、運営会議に出席したものとみなす。

（運営会議に関する特例）

第12 条 会長は、あらかじめ運営会議が定める軽微な事項については、書面により賛否を求め、運営会議に代えることができる。ただし、3分の1以上の運営委員から異議の申出があつた場合はこの限りでない。

（議事録）

第13 条 運営会議を開会したときは、次の掲げる事項を記載した議事録を作成する。

一 運営会議の開会の日時及び場所

二 運営会議に出席した運営委員の数又は氏名（書面による表決者及び表決の委任者を含む。）

三 決議事項

（分科会の設置）

第14 条 運営会議に、必要に応じ、特定の課題について審議するため、臨時に分科会を設置する。

（分科会の構成）

第15 条 分科会は、運営委員又は各部局の部局委員であつて、分科会の活動への参加を希望する者のうちから、会長の同意を得て担当理事が指名した者によって構成する。

2 前項の担当理事の指名を受けた者は、分科会の構成員として他の者を指名することが出来る。

（主査及び副主査）

第16 条 分科会に、それぞれ主査1 名及び副主査1 名を置く。

2 主査及び副主査は、分科会の構成員のうちから、会長の同意を得て担当理事が指名する。

(分科会に関するその他の事項)

第17 条 分科会に関する必要なその他の事項は、運営会議において別に定める。

(作業班の設置)

第18 条 運営会議に、必要に応じ、事業に係る手法の策定、その手法の改定について審議するため、臨時に作業班を設置する。

(作業班の構成)

第19 条 作業班は、当該事業展開の計画作成に寄与した部局委員又は当該事業の維持改定に寄与しようとする部局委員であって、作業班の活動への参加を希望する者のうちから、担当理事が指名した者によって構成する。

2 前項の担当理事の指名を受けた者は、作業班の構成員として他の者を指名することが出来る。

(主任及び副主任)

第20 条 作業班に、それぞれ主任1 名及び副主任1 名を置く。

2 主任は、作業班の構成員のうちから、互選により選任し、副主任は主任が指名する。

(委任)

第21 条 作業班に関する必要なその他の事項は、作業班において別に定める。

附則

この細則は、平成24年4月16日から施行する。